

センサ・デバイスと 組み合わせて動かしてみる

土屋 健

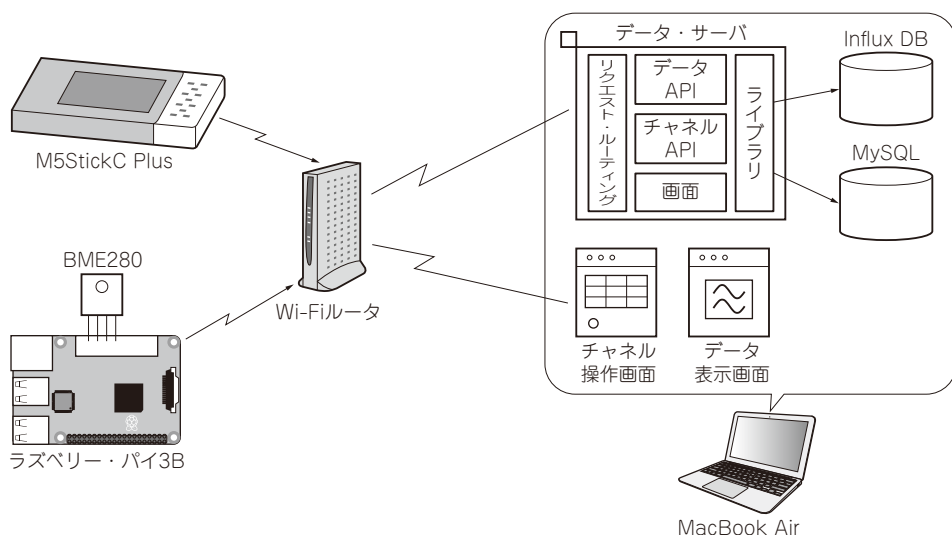


図1
これまでに構築した
データ・サーバの構成

前章まででセンサ・データを保存し、可視化する仕組みが出来上がりました(図1)。本章ではまとめとして、環境センサを搭載した装置からデータを登録し、ウェブ・ブラウザで可視化します。

動作の様子を写真1に示します。

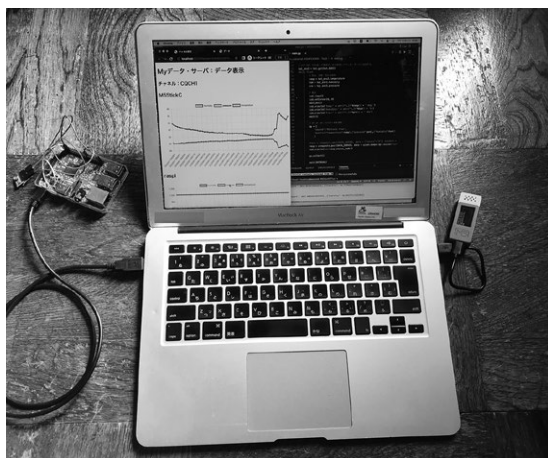


写真1 実験の様子

ステップ1… これまで作成したものを起動

手順としては、

- 1) MySQLの立ち上げ
- 2) InfluxDBの立ち上げ
- 3) 動作設定
 - 3-1) LIB/config.jsonにMySQLの接続情報を設定
 - 3-2) MySQLのds_influxdbにInfluxDBへの接続情報を登録
- 4) データ・サーバの起動

となります。前章までの内容を実施していれば、ここまでは済んだ状態となっています。

ステップ2…データ登録チャンネルを作成

ウェブ・ブラウザでチャンネル管理画面を開き、チャンネルを作成します。

`http://<サーバアドレス>:<ポート番号>/dataserver/channel.html`